

多久 議会だより



令和4年
6月定例会

第53号



審査報告		P2~3
議案質疑		P4~5
一般質問		P6~9
まちで発見!・永年表彰		P10

令和4年6月定例会

令和4年6月市議会定例会は6月6日から6月20日まで（会期15日間）開かれました。
今回は4人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

6月定例会では、市長から提出されました議案14件（条例4件、予算6件、その他4件）の議案について審査し、いずれも原案どおり可決したほか、意見書2件を可決しました。

可決された意見書（要約）

義務教育費国庫負担 制度拡充及び教職 員定数の改善を求め る意見書

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の改正により、2021年度から小学校の学級編制標準が学年進行にともなう段階的に35人に引き下げられました。

学校現場では、いじめ・不登校・子どもの貧困など解決すべき社会的課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教職員が本来すべき教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。また、新型コロナウイルス感染症対策にともない、新たな業務も発生しています。

義務教育費国庫負担制度については、義務教育費国庫負担法の改正以降、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。国の施策として

定数改善に向けた財源保障をし、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが重要であり、ゆたかな学びや教職員の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の教職員の配置増など定数改善が不可欠であり、政府予算編成について十分な予算措置を強く要請いたします。

国民の祝日「海の日」 の7月20日への固定 化を求める意見書

国民の祝日「海の日」は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨として、昭和16年に制定された「海の記念日」7月20日が海の日となりました。

しかし、平成15年以降、いわゆるハッピーマンデー制度により「海の日」は7月の第3月曜日になり毎年その日にちが変動する祝日となつてしまいました。

四面を海に囲まれたわが国は海なしでは成り立ちません。海から大きな恩恵を受けると同時に、様々な影響も受けます。海に生かされている、と同時に海と共に生きる、すなわち海と共生している国民であるとも言えます。

国民の一人一人が海をめぐる様々な状況に思いを馳せ、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」という「海の日」の趣旨に思いをいたす機運を盛り上げることが極めて重要です。

「海の日」を当初の7月20日に固定化することを要望します。



総務文教委員会 閉会中審査報告

「空き家対策」については、3月に策定された第2次多久市空家等対策計画の中で、空き家の状況把握として、これからは嘱託員からの報告や相談を原則とし、近隣住民から市役所へ直接相談があった場合は嘱託員に相談内容を報告するなど、今まで以上に地域との情報共有を諮ることとなり、また諸問題に対しても市内の各関係部署と連携し、横断的な取り組み体制が今まで以上に強化されていることが確認できました。これまで本委員会においても空き家情報の把握や相談窓口の一本化、市内組織の連携強化について取り組みを進めてきた結果であり、委員会審査の目的を果たしたため、継続審査を終了することとしました。

次に、公共施設の維持管理対策については、多久市公共施設個別施設計画策定の考え方や基本方針について説明を受け、委員会からは計画素案の早急な作成要望を行い、作成後は速やかに再協議を行うこととしました。

産業厚生委員会 閉会中審査報告

「持続可能な営農への取り組み」については、市の担当課と「多久市農業振興計画2021」について、具体的取り組みとその進捗状況について説明を受けるとともに、意見交換を行いました。説明の中では、多久市農業再生協議会で策定した水田収益力強化ビジョン、経営所得安定対策、多久市独自の補助事業、地域農業水利施設ストックマネジメント事業、中山間地域総合整備事業、多面的機能支払交付金事業などについて、計画の達成に向け進めているとの説明を受けました。

委員からは、新規就農を希望する方には、樹園地・農業機械等を引き継げば、その年からの収穫も望めるし、資金的にも緩和されるのでみかんの栽培を勧めてはどうか、スマート農業の山間部での対応は費用対効果に問題点があり対応を考えるとほしい、地域農業集落の法人化へ向けた取り組みに積極的に関わってほしい、もっと地域に溶け込んで広範な相談等に対応してほしい等の意見がありました。

今後も、「持続可能な営農への取り組み」「市内事業者の更なる活性化」の2項目について、委員会の中でも検討を重ねるとともに、市の担当課や商工関係団体との協議を重ね、検討を進めていきます。



田植え後の中山間地水田

予算特別委員会 審査報告

令和4年度多久市一般会計 補正予算 第3号

審査の過程で、新型コロナウイルス感染症対策予算については、予算編成の過程において事業内容を十分に検討し執行するようとの意見がありました。

本議案については、慎重に審査した結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案番号	議案名	賛否表															議決結果
		1 飯守 康洋	2 田淵 厚	3 香月 正則	4 樺島 永二郎	5 國信 好永	6 山本 茂雄	7 田中 英行	8 中島 國孝	9 平間 智治	10 中島 慶子	11 小川 三郎	12	13 古賀 公彦	14 鷺崎 義彦	15 野北 悟	
議案 甲第23号	多久市副市長の選任について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案同意

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 退は退席

議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

鷺崎 義彦

■船山キャンプ場供用廃止について

Q 船山キャンプ場の供用を廃止するに至った経緯や理由と、今後どのようにしていくつもりなのか

A 船山キャンプ場は、7月、8月の利用期間以外にも多くの方々が利用されています。キャンプブームの中、民間事業者よりキャンプ場を有効活用し、市の活性化を図りたいということで複数社より相談があつています。

市では、観光の振興、持続可能な財政運営の維持、土地及び施設の有効利用の観点より、民間事業者へ売却、もしくは貸付けを行うこととしました。

条例成立後は、キャンプ場を有効利用していただく事業者への売却、もしくは貸付けを予定しております。売却の場合は、地元と調整後に財産処分の方針を検討を行います。

Q 売却、もしくは貸付けの範囲は。また、中桁ため池の管理のための往来についての配慮は

A 敷地の合計面積1万845平方メートル、その敷地内にある休憩所、トイレ、共同炊事場の全ての建築物です。また、ため池の維持管理、九州自然歩道の歩行者の支障にならないよう条件を付します。

Q 売却等を行うのであれば、その後の使用形態等確認されたい

A キャンプ場としての利用が条件ということで売却、貸し付けを行うこととしています。さらに、転売の場合も考え買戻し特約についても検討します。



飯守 康洋

■船山キャンプ場供用廃止について

Q 民間事業者が計画しているキャンプ場の規模は。中桁ため池の管理道路の条件、産廃等への対応は

A 現時点では事業規模は分かりません。ため池については、キャンプ場の用途や形態など大きな変更がなければ利用者に被害はないとの認識です。また、条例等が承認されたら、地元の皆様との打合せ、協議等行いたいと考えます。

Q 環境の乱開発がなく、地元住民の方が平穏に過ごせるよう目配りをお願いしたい

A キャンプ場が他の用途に使用されたり、転売等されることのないよう、条件を付しての売却等を考えています。



船山キャンプ場

中島 慶子

■新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金

Q 事業の内容は

A 社会体育施設及び義務教育学校の和式トイレのうち、39基を洋式トイレに改修します。水を流した時に蓋がある事から飛沫を防ぎ感染防止を図ります。

Q 改修に係る工期は、また今回の洋式トイレ改修で事業は完了するのか

A 工期について社会体育施設は、7月以降の早い時期に、学校教育施設は学校と調整をおこない週休日等も活用し、早い時期に完了できるように努めていきます。

また今回のトイレ改修で全てではないが一定程度の改修はできると考えています。

Q 感染リスクを更に減らすために手洗い場の自動水栓も必要だったのでは

A 主要な施設は改修を進めてきましたが、更に設置が必要とご意見等があれば検討していきます。また、学校教育施設については数の多さ等があり、日常生活の中での手洗いやうがい、アルコール消毒の徹底とマスク着用の推奨を意識づける取り組みを進めています。



田淵 厚

■施設園芸省エネ対策事業

Q 補助金260万7千円の詳細と効果と成果は

A 燃料価格高騰によるハウス園芸農家の経営安定を図るため省エネ機器のヒートポンプを再導入する農家に導入経費の2分の1を補助します。効果としては燃油使用量削減に経費削減とCO2削減効果です。

成果としては、ハウス内温度管理により品質の安定と数量の増加、病害虫発生抑制により農薬の削減が見込めますので、経営安定を図ることとなります。

Q 今回の助成制度は、換気装置、送風装置等であり、その他の助成制度はないのか

A 助成制度につきましては、県事業のさが園芸生産888億円推進事業、国の産地生産基盤パワーアップ事業などがあります。各部会を通して直接農家さんへ周知を行っています。燃油高騰、資材、肥料の高騰に対する助成は、現在、国や県でも検討されているという情報もあり、動向を注視しながら、多久市独自の対策も今後検討していきたいと考えています。



ヒートポンプ

議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

樺島 永二郎

■放課後児童クラブICT化推進事業

Q この事業の目的と、調達器材・システムは

A 支援員業務のICT化を図り、業務効率の向上、保護者の利便性向上を目的としています。各校の全8クラスにノートPC、ウェブカメラ、通信ヘッドセット、放課後児童クラブ毎にタブレット、プリンターを購入します。保育・教育施設向け業務支援ツールを利用します。これは保護者へ、児童の登退所のメール連絡や、各種連絡を双方向で行えます。

Q 器材の更新時の費用は、業務支援ツールの使用料、運営経費の財源は

A 処分制限期間以上の活用を考えていますが、更新時にはいろいろな補助事業を確認し活用できればと考えています。業務支援ツールの年間経費は約60万円です。

財源は放課後児童健全育成事業の国庫補助、県費補助の中で賄いたいと考えています。



中央校放課後児童クラブ

■結婚新生活支援事業

Q 内容と対象者・受給条件、補助額は

A 結婚新生活を開始時の経済的な負担を軽減することにより、少子化対策を強化することです。

令和4年1月1日～令和5年3月31日に婚姻届を提出した、39歳以下で世帯の所得が400万円未満です。夫婦とも39歳以下は30万円、夫婦ともに29歳以下は60万円が上限額です。

Q 補助対象は

A 住宅取得費用、住宅賃貸費用、引っ越し費用、リフォーム費用などが補助対象です。

Q 多久市では定住施策として子育て・若者世帯定住奨励金、新婚世帯家賃等補助金を実施されているが、併用が可能なか

A 同時期に重複して補助はできません。申請者が補助事業を選択し申請していただくことにしています。



平間 智治

■骨髄等移植推進事業

Q 骨髄移植の現状と事業の詳細は

A 骨髄提供を待たれている方は全国で毎年約1,700人。実際に骨髄提供を受けた人は約6割で、令和3年度に佐賀県で新規にドナー登録された方は224名、実際に骨髄等を提供された方は11名、過去11年間では骨髄を提供された方は147名です。事業の詳細は、通院、入院に要した日数1日につき2万円を補助します。

Q 予算の詳細と対象者の予定人数は

A 骨髄等の提供者が受診に要した日数に対し、1日2万円の7日間で最高14万円。また、毎年、佐賀県全体で15人程度なので、多久市では2人、全体で28万円の予算を計上しています。

Q ドナーの対象者の条件は

A 年齢が18歳から54歳で健康な人、体重が男性は45キログラム以上、女性は40キログラム以上の人です。献血の際にも相談できます。年に3回程度、市役所のロビーで実施し、献血は毎回100名程度の方に御協力をいただいておりますので、併せてドナー登録につながるよう啓発していきます。



■ロマンシング佐賀2022事業

Q 事業の目的と事業内容は

A 県が行っているこの事業は、株式会社スクウェア・エニックスが制作したロールプレイングゲームの総称であります「サガ」の25周年を記念して、佐賀県と「サガ」をコラボレーションしたプロジェクト事業で、平成26年度より継続的に行われる事業です。なおこの事業は、佐賀県関係人口創出チャレンジ協議会が、令和2年度より企画及び運営を行っており、この協議会では、地域との何らかの関係性を持ち、佐賀県、または佐賀県の特定の地域と継続的かつ多様な関わりを持つ関係人口を創出することを目的としています。

Q 多久市での事業は

A 主な事業は次の3つです。

①ロマンシング佐賀列車事業として、JR唐津線、筑肥線山本ー伊万里間の全列車に「サガ」シリーズのゲームのキャラクターや市の名所等をラッピングした車両を運行する計画です。

②ラッピング駅事業として、各駅看板を各地域の象徴するものや特産品でラッピングするもので、東多久駅、中多久駅、多久駅の看板がラッピングされる予定です。

③周遊イベント事業として、多久駅周辺でのウォールアートを利用したスタンプラリーを実施し、スタンプラリーをクリアした参加者へのノベルティーの配付等を予定しています。



ラッピング列車



平間 智治

ヤングケアラー
子どもが抱える諸問題について

平間 ヤングケアラーについて市の認識は。

答弁 ヤングケアラーとは、本来、大人が担うと想定されているような家事、あるいは家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子どものことを指しています。



令和4年1月に全国の小学校から350校を無作為抽出し、実施された調査の結果、小学6年生では6・5%、およそ15人に1人という結果が出ています。

平間 学校での対応について、ヤング

ケアラー、子どもの貧困、児童虐待、不登校、どれもが早期発見を含め、支援する手段を充実することが不可欠と考えます。義務教育学校での対応は。

答弁 学校では3つの取り組みを行っています。

(1)毎月実施している学校生活アンケートや半期ごとに行う教育相談で、子どもたちの心や健康状態、周りの様子で気になることを把握することとで早期の対応に努めています。

(2)各学校では教育相談部会を置き、子どもたちの困り感、心配事に対して組織的に対応できるようにしています。また、必要に応じてスクールカウンセラーや市の教育支援センター「怒るーむ」とも連携し、細やかな対応ができるように体制を整えています。

(3)また、ヤングケアラーについては、顕在化しにくい問題であることを認識した上で、民生委員や主任児童委員の方々との情報共有、福祉課をはじめとした市長部局や専門機関との連携も行っていきます。

平間 ヤングケアラーの把握方法等、把握件数は。

答弁 現在、そのような状況になっている児童・生徒はいないと認識しております。

平間 ヤングケアラーについての専門的なソーシャルワーカーなどの配置は。

答弁 ヤングケアラー専門という人員の配置ではないが、家庭相談員1名、ひとり親の自立支援員1名と、子ども係の職員がヤングケアラーに限らず、児童虐待、子どもの貧困、家庭の貧困のところも含めて対応しています。

また、学校にはスクールソーシャルワーカー1名と、2名のスクールカウンセラーを各校に派遣し対応しています。

平間 国では2022年度から3年間を集中取組期間に設定し、行政と支援機関とのつなぎ役であるヤングケアラーコーディネーターの配置や自治体による職員研修などの必要経費が盛り込んでおり、子どもの対策に、力を入れていきます。着実な対策実施をお願いしたい。子どもの若者総合相談センターとしての対策は。

答弁 国の補助金では、「地域子供の未来応援交付金」により、例えば、アンケート調査を実施する費用などに、国が2分の1補助などの、支援事業がございまして、今後調査を行う場合に活用するなど取り組んでいきます。

平間 気軽に児童生徒の方がこのタブレット端末で、誰にも言えない、家族にも言えない、小さな声を拾い上げることができるタブレット端末で何でも書いて送られるような体制づくりはできないか。

答弁 タブレット端末を活用した方法も、これから検討していきます。



平間 スクールソーシャルワーカーなど、子どものために人員配置など、国の予算を使って、ぜひ増やしていただいて、細やかな対応、また吸い上げる努力をお願いします。

一般質問



樺島 永二郎

運動部活動の地域移行の課題 義務教育学校の運動部活動について

樺島 スポーツ庁では少子化や教師の働き方改革が進む中、学校での運動部活動に代わり、地域で運動、スポーツの機会を確保、充実していく必要があるとして、休日の運動部活動の段階的な地域移行や合同部活動などの推進、休日の地域でのスポーツ環境の構築を図っています。

これを受け、昨年度からモデル地区として行っている地域運動部活動推進事業の現状は。

答弁 令和3年度から、休日の合同部活動の計画を実施し、諸課題等の把握に努めるとともに、休日の部活動の受皿として多久スポーツピアを核として取り組むことについて検討、調整を進めています。

この取り組みにより、様々な成果や課題を積み上げており、将来的にはスポーツピアを中心とした社会体育への完全移行を目指しています。

樺島 今年度までは、外部指導員に對して、謝金が(一日2,700円)確保されているが、来年度以降はスポーツピアからの一日200円だけになるがその対策は。

答弁 国では受益者(保護者)負担が最終目標になっています。

このことも含め保護者に説明を行い理解を求めたいと考えています。



東部校サッカー部

樺島 運営団体であるスポーツピアへの業務負担が増加しているが、その対応は行ったのか、また、今後は。

答弁 保険加入業務には職員も支援し、また、事務委託料として20万円の予算を組んでいます。

来年度以降、国の委託事業である本事業が続くかどうか不明であり予算化は考えていません。

樺島 外部指導者の継続性問題は、部活動の存亡に繋がります。

それに対してどのように取り組んで行くのか。

答弁 競技団体へ今後の指導者育成を依頼し、教育委員会でも市体協を通じて候補者の掘り起こしを継続し、複数体制の構築を目指します。



東部校バレー部

樺島 令和7年度までに休日の全運動部活動を移行するとなっているが、その後、平日運動部活動の移行に取り組むのか、また文化系部活動での取り組みも開始するのか。

答弁 令和8年度以降については今検討しており、文化系部活動については国からの動きがあれば対応していきます。





中島 慶子

魅力的な街に
より良い地域公共交通の在り方

中島 令和4年3月に策定された「多久市地域公共交通計画」の目指すところは。

答弁 公共交通を取り巻く状況は、人口の減少や少子化の進展、バス運転手の人材不足などによりまして維持確保に厳しさが増している状況です。

高齢化に伴う運転免許証返納者の増加もあり、地域の暮らしを支える移動手段を確保することの重要性はますます高まっています。

課題解決を含め、利便性の向上、運行効率化など、市民の日常生活における移動手段の確保、魅力的な街を支え続ける公共交通ネットワーク構築を将来像として掲げ、その実現を目指すこととしています。

中島 令和7年に新公立病院の設置に伴い地域内、市内の循環の形態も変わり市民が利用しやすい様に利便

性の向上を図るために市民のニーズをどの程度を捉えているのか。

答弁 市民アンケートの意向として市立病院移転に伴い、西多久町・多久町の方々の住民が移動に困る。多久市内の商業施設、市役所、医療機関への移動に対する充実に取り組むべきである等の結果が分かりました。



ふれあいバス

中島 小城市の巡回バスの新公立病院への乗り入れの確保について。

答弁 多久市・小城市の交通担当課、両病院及び小城多久医療組合で協議を行っています。
新公立病院利用者の移動手段の確保、利便性に向け更に協議を進めていきます。

未来を守る子育て応援のまち
として

中島 長引くコロナ禍で雇用の悪化や収入減経済的困窮から生理用品の購入ができていない現実があり、社会問題化している。学校トイレへの生理用品の設置などについて。

答弁 学校トイレへの生理用品設置は行っていない。児童生徒の急な対応を想定し学校では保健室で準備しています。

安心して過ごせる学校教育環境づくりを学校全体で進めています。

学校では保健学習の際に、心と体の変化について正しい理解を促すとともに、性に関する指導を発達の段階を考慮して進めています。また、生理用品の受け取りに関しても、子ど

もたちが不安感を持つことがないよう考慮して対応しています。
既に女子トイレに生理用品を設置している県立学校等もあり、効果等を踏まえ研究を進めます。



【その他の質問】

▼子宮頸がんワクチンについて

一般質問



田 淵 厚

排水機場の安全対策 大雨時の防災対策について

田淵 数十年に一度と言われる豪雨が毎年発生している状況で、激甚化している風水害対策、インフラ老朽化対策は急務、その対策として小城市側に工事中的牛津川遊水地事業の地域説明はどうなっているか。

答弁 毎回被災する箇所には、その経緯も含めて国、県、関係機関へ改善を要請しています。市が管理する道路・河川の災害につきましては災害復旧事業により復旧を行っています。

牛津川遊水地は容量約250万立米、面積約90haで、牟田辺遊水地は90立米、面積53・4haで、比較しますと容量で約2・8倍、面積は約1・7倍の大きさとなっています。地域への説明は近日中に行います。

田淵 避難場所の納所交流センターは両子川と平林川が合流すること、水が越流し駐車場・グラウンド、体育館の床下まで流れこんでいます。

また、避難される方は危険な状態にあります。根本的に合流部の水対策が必要ではないのか。



小城市に建設中の遊水地

答弁 この両河川の合流部には大型土嚢を設置しました。

また現在両子川上流には、県により、砂防ダム事業が進められており、この砂防ダムが完成すれば現在の状況が改善されることが見込まれます。

田淵 排水機場は稼働した場合、3・4日入りっ放しになり、そういった場合として水や食料は備蓄する必要がありますと思うし、夜の真っ暗な中、ベルトコンベヤーからの流下物の除去作業、引き上げられない大きなもの、重い物を撤去する危険な作業があるので、ライフジャケットやヘルメット、ライト等の備品が必要と思うが。

答弁 ライフジャケットやヘルメットは、今年度、各排水場に配備しており、水や食料等の確保につきましては早急に備蓄して参ります。

夜間作業、長時間作業等の安全管理については、更なる・安全対策に取り組んでいきます。

田淵 今、工事がなされている牛津川遊水地の期待される効果、詳細はどうなっているのか。

また、牟田辺遊水地との運用連携はどうなっているのか。

答弁 期待される効果としましては河道掘削、引き堤案の河川改修と併せ、牛津川遊水地が完成し、実施することで、令和元年8月の洪水と同じ規模でも、洪水を安全に流下させ、越水を防ぎ、各排水ポンプを長時間稼働させることが可能となり、内水氾濫の軽減に繋がるものとされています。

次に、牟田辺遊水地との運用連携につきましては、越流堤から遊水地への流入のタイミングは、同程度となる計画です。



納所排水機場



多久の歴史

前多久家から後多久家へ

天文13年(1544)、★①龍造寺周家が率いる軍の攻撃により、鎌倉幕府の御家人、「多久太郎宗直」が築いた梶峰城を攻略し、鎌倉以来342年続いた前多久家は邑主としての地位を失いました。(この時、相浦宗尚・土橋式部ら多くの土着の士が味方になった)

多久崩れ

翌14年、梶峰城に在った龍造寺周家らを有馬勢が攻め寄せ、龍造寺勢は一族数百人が志久峠にて防ぎ戦うこと三日に及んだが力尽き夜陰に隠れて敗走しました。これを多久崩れといいます。

水江事略(水ヶ江龍造寺の事蹟記) 抜粋

「有馬勢兵ヲマトメテ女山ニ陣ス、船山、八幡岳ノ山々軍勢ナラザル処ナク、篝火幾百ト云ヲ知ラス、城中ハ甚微勢ニシテ此ママ敵強ニ当リ難ク、終ニ夜ニ紛レテ城出」

丹坂合戦

永禄5年(1562)冬、豊後の大友義鎮は小式家を再興せんと、有馬氏、松浦党、★②多久上野守宗利 多久上野守宗利(下多久城主)等、肥前の諸将に呼び掛け、その軍兵を合わせて、龍造寺を攻め滅ぼし、小式家をたてんと企てた。緒戦は劣勢の場面もあったが、同年7月、★③龍造寺隆信が龍造寺隆信はこの敗勢を盛り返すべく弟たちや鍋島信房等を従え自ら出馬、丹坂(現小城町三里)に陣を構えた。その攻防は牛津川を境に両軍入り乱れて相戦い、初戦は有馬勢が切り勝ち西郷(三里西川宿)まで攻め入ったが、龍造寺勢も激しく戦い、ついには有馬勢を丹坂峠を越えて右原へ追い詰め敗走させた。この戦いで有馬氏に味方した土着の武士のうち、西の原の田代刑部少輔は討死、羽佐間の田中土佐守は羽佐間へ引いた。かくし

て、龍造寺勢は勢を駆って別府を通り梶峰城を攻め落とした。

その後、隆信は梶峰城に龍造寺長信を置き、南に有馬・平井・後藤、西に伊万里・山代・大河野、北に波多・松浦・鶴田氏ら大敵に囲まれる中でこれを守った。



龍造寺隆信の肖像▲

肥前分け目の合戦

丹坂峠の戦い

有馬 義貞(島原)	龍造寺 隆信(佐賀)
西郷 純尚(諫早)	鍋島 直茂(佐賀)
大村 純忠(大村)	納富 信景(佐賀)
後藤 貴明(武雄)	小河 信友(佐賀)
平井 経治(白石)	千葉 胤連(小城)
多久 宗利(多久)	徳島・鴨打・持永(小城)

VS

長信の多久支配

元亀元年(1570)龍造寺氏を討つため、大友宗麟は再度佐賀に侵入してきた。龍造寺長信はこの戦いで多くの軍功をあげた。龍造寺隆信はこれを多いに喜び長信に多久の地を与え、梶峰城主とした。これが、水ヶ江龍造寺第4世長信の多久支配の始まりである。



龍造寺長信の肖像▲

- ★① 龍造寺長信の実父
- ★② 前多久家14代宗時の子(有馬家の身を寄せていた)
- ★③ 龍造寺周家の子、龍造寺長信の実兄(肥前の熊と言われた)

UDFONT

画や文字を簡単に描くことができるフォントです。



環境に優しい植物油インキを使用しています。

全国市議会 議長会より表彰

特別表彰(20年)

飯守 康洋

野北 悟
平間 智治
國信 好永

一般表彰(15年)



委員 田淵 厚 小川 三郎	委員 平間 智治 香月 正則	議長 榊島 永二郎 副議長 鷺崎 義彦	議会広報委員会
---------------------	----------------------	------------------------------	---------

